



GT4P

2.4GHz 4CH
Digital Proportional
RC System



Ver 1.00

INSTRUCTION MANUAL

2.4GHz 4ch GT4P 送受信機セット 取扱説明書

MANUFACTURED BY
FLYSKY

ご使用の前に本説明書を良くお読みいただき、正しくお使いください。

目次

1. 安全上のご注意	
はじめに	03
安全のための注意事項	03
2. 製品について	
GT4P送信機	04
GR4P受信機	05
3. 使用方法	
接続図	06
ESCとサーボのセットアップ	06
ESCの低電圧カットオフ設定	07
バインド	07
4. 操作方法	
スロットルの操作方法	08
ステアリングの操作方法	08
5. GT4P送信機の機能について	
チャンネル(CH)	09
チャンネルリバース	09
トリム調整	09
デュアルレート	10
ビギナー(初心者)モード	10
6. 高度な設定	
フェイルセーフ	11
キャリブレーション	11
7. 製品仕様	
GT4P送信機 仕様	12
GR4P受信機 仕様	12
ESC (SPORT BRUSHED POWER BEC) 仕様	13
GDS-0812 デジタルサーボ 仕様	13
8. サポート情報	
よく頂くご質問	14
保証・修理規定	15
有償交換について	15
免責事項	15
お問い合わせ先	15

1. 安全上のご注意

この度はG-FORCE Digital Proportional RC System GT4Pをお求めいただき、誠にありがとうございます。

本製品は、4chのシンプルな送受信機セットです。信頼性の高いFH式を採用し、リバーススイッチやトリムなどベーシックな機能に加え、スロットル開度を50%に制限するビギナー（初心者）モードを搭載しています。初めてのRCカーはもちろん、セカンドカー用やお子様用としても最適にお使い頂けます。しかし、取扱い・操作を誤ると操縦者だけでなく、周囲の人や物に重大な危害、または損害を与える恐れがあります。許可された場所でルールを守って走行させることはもちろん、周囲の人やモノにも十分にご注意ください。

本取扱説明書には使用方法、各機能、注意事項などの重要な情報が記載されております。必ず最後までよくお読みいただき、注意事項を守り安全に配慮しお使いいただけますよう、よろしくお願い致します。

ご使用の前に本説明書を良くお読みいただき、正しくお使いください。

はじめに

2.4GHz送受信機を安全にご利用いただくため、下記注意事項を必ずご理解ください。

- お子様がお使いになる場合には、保護者の方と一緒に説明書をお読みください。
- 説明書に従って正しく使用してください。
- 2.4GHzは多くの用途につかわれる公共性の高い電波です。そのため環境次第では干渉を起こし、レスポンスが低下する場合があります。
- 走行時は、送受信に影響するノイズの発生源から十分に離して使用してください。
- 同時走行台数は20台を上限目安としてください。
- 樹木や鉄塔、水柱などが送信機と受信機の間にすると電波が遮蔽され、操縦不能となる可能性があります。
- 本製品は日本の国内向けに電波認証を受けた正規品です。
- 送受信機の分解や改造は絶対にしないでください。



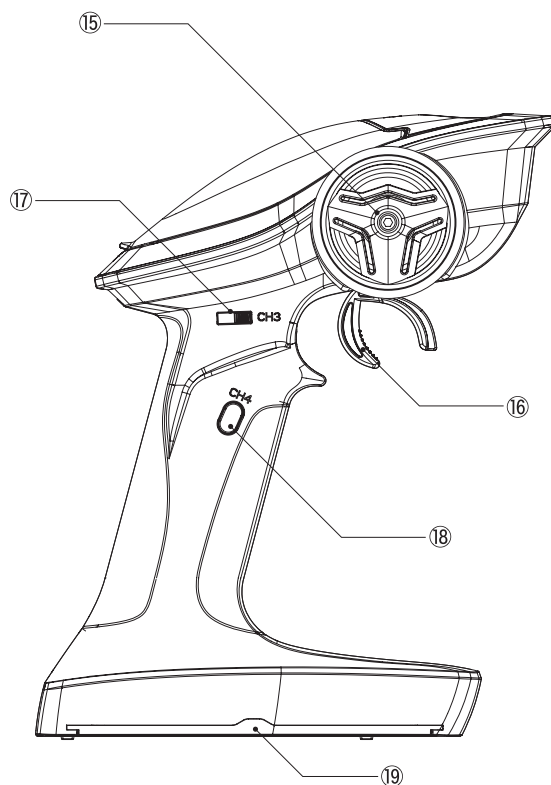
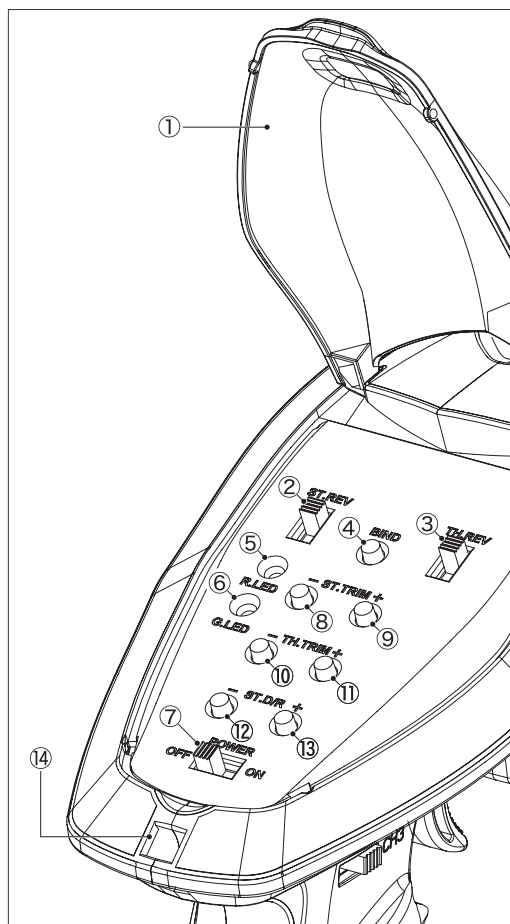
安全のための注意事項（必ずお読みください）

- 本製品は防水性ではありません。水滴や結露などには充分にお気を付けてください。
- 本製品はRCカー、RCボート専用です。それ以外の用途には使用しないでください。
- 送信機の電池には必ず「アルカリ乾電池」をお使いください。
※マンガン電池や充電式乾電池（エネループなど）では正しく動作しません。
※新品電池と使用済み電池を混ぜて入れないでください。
- 送信機の電池残量が低下した場合はすぐに走行を中止し、乾電池を交換してください。
- 送受信機の電池は+/-を正しく揃えて入れてください。
- 走行をさせないときは、送信機・受信機とも必ず電源をOFFにしてください。
- 電源は【送信機ON⇒受信機ON】の順番で入れてください。
- 走行を終了するときは【受信機OFF⇒送信機OFF】の順番で電源を切ってください。
- 長期間使用しない場合は、送信機の電池を外して置くようにしてください。
- 直射日光や湿気、落下の危険などの無い場所に保管するようにしてください。

2. 製品について

GT4P 送信機

各部名称



①	パネルカバー	⑪	スロットルトリム (+側)
②	ステアリング (CH1) リバーススイッチ	⑫	ステアリングデュアルレート (-側)
③	スロットル (CH2) リバーススイッチ	⑬	ステアリングデュアルレート (+側)
④	バインドボタン	⑭	ストラップ用ホール
⑤	電源LED (赤色)	⑮	ステアリングホイール
⑥	ステータスLED (緑色)	⑯	スロットルトリガー
⑦	電源スイッチ	⑰	3ポジションスイッチ (CH3)
⑧	ステアリングトリム (-側)	⑱	2ポジションボタン (CH4)
⑨	ステアリングトリム (+側)		
⑩	スロットルトリム (-側)		

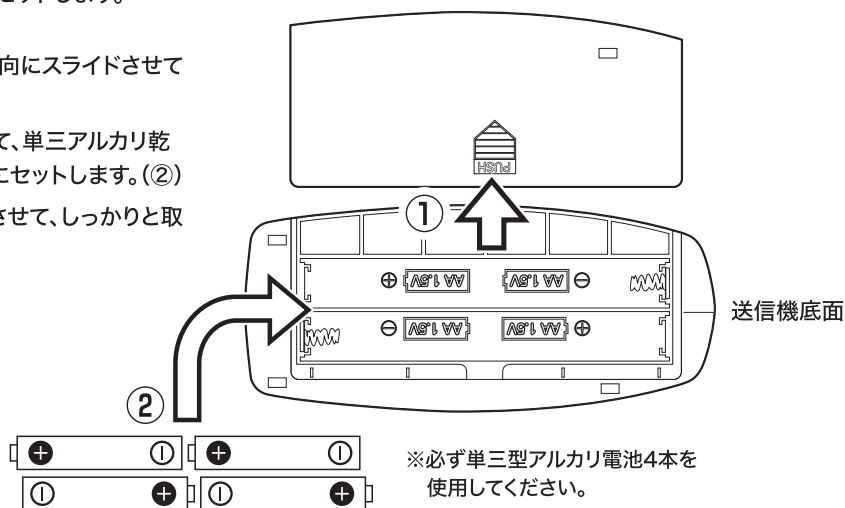
送信機に電池をセットする

送信機の電源には単三アルカリ乾電池4本(別売)が必要です。
右図に従って正しい向きでセットします。

電池カバーを矢印の方向にスライドさせて
取り外します。(①)

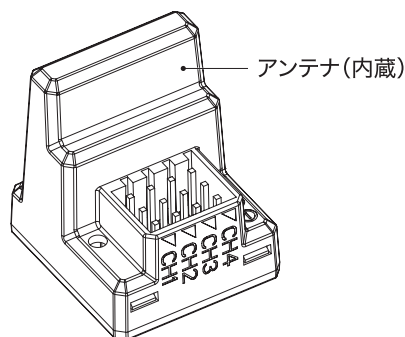
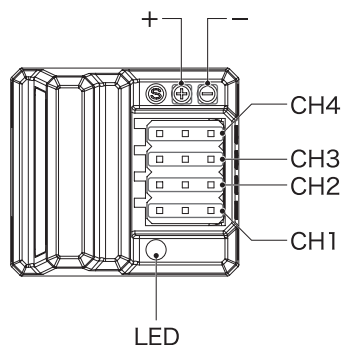
ケース内の表示に従って、単三アルカリ乾
電池4本を正しい向きにセットします。(②)

電池カバーをスライドさせて、しっかりと取
り付けます。



- 電池の残量が減ってくると、操作パネル内の緑LEDがゆっくり点滅します。この状態になったら直ちに走行を中止して、電池を新しいものに交換してください。
- 充電式電池(NiMH/Cd)やマンガン電池を使うと電波が弱くなり、操縦不能になる危険があります。必ず単三型アルカリ電池を使用してください。
- 液漏れ、ショート、水濡れなど、破損した電池は使わないでください。

GR4P 受信機



電動RCカーの場合、CH1にステアリングサーボ、
CH2にESC(アンプ)を接続します。



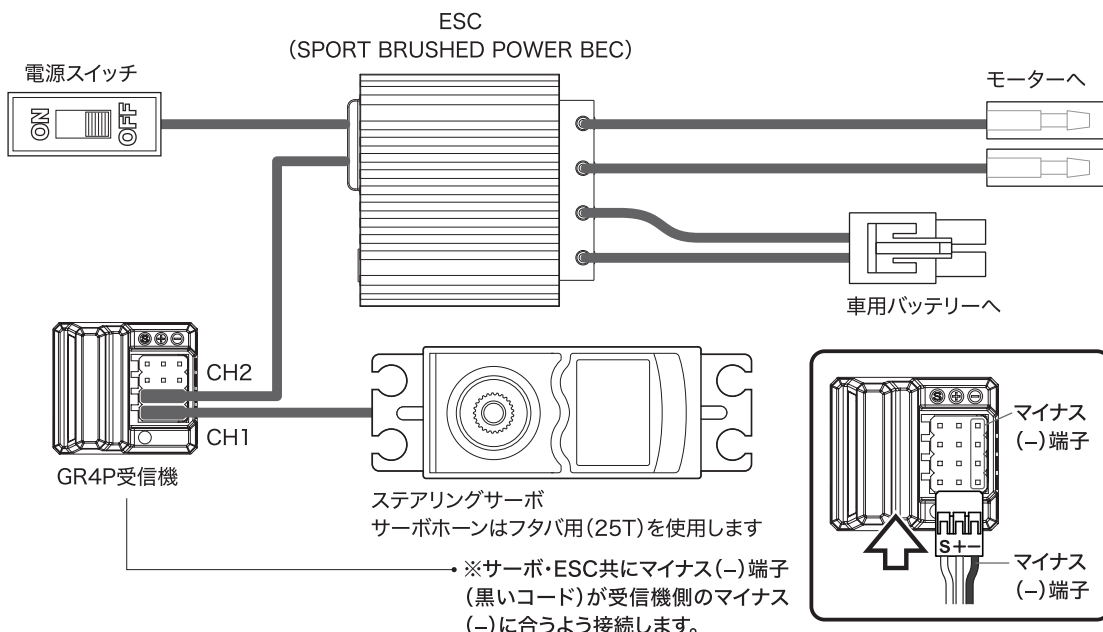
- 車載した後、アンテナの上にケーブルなどが被らないように気を付けてください。電波が遮られ操縦不能になる可能性があります。
- 安定して電波を受信するため、受信機は金属製のフレームなどに触れないように離れた位置、かつ車体の最も高い位置に搭載するようにしてください。

3. 使用方法

接続図

GR4P受信機とESC(アンプ)、サーボを接続します。

RC装置は搭載する車体に合わせて、適切な位置に設置してください。



ESCとサーボのセットアップ

GR4P受信機のCH.1にサーボを、CH.2にESCを接続します。

※黒/赤/灰の3色ケーブルの[黒]を受信機の[-]表示に合わせて接続します。

送信機のパネルカバーを開け、電源スイッチをONにします。送信機のR.LEDが点灯します。

ESCの電源スイッチをONにして、受信機を起動させます。

ESCの内蔵LEDが赤く点滅したらセットアップ完了です。

※LEDが赤点滅になるまでは送信機に触れずにお待ちください。



安全のため、受信機(ESC)のON/OFFは必ず、送信機の電源が入った状態で行ってください。

電源を入れる時 : 送信機ON ⇒ 受信機(ESC)ONの順に

電源を切る時 : 受信機(ESC)OFF ⇒ 送信機OFFの順に

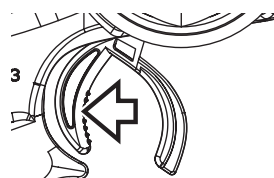


- セットに同梱のESCは出荷時にNiMH(ニッケル水素)バッテリー用の設定(NiMHモード)となっています。そのままLiPoバッテリーで走行をさせるとLiPoバッテリーを破損する可能性があります。LiPoで走行させる場合にはP.7の「LiPoバッテリーを使用する場合」に従ってLiPoバッテリー用設定(LiPoモード)に設定を変更してください。

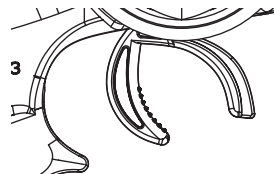
ESCの低電圧カットオフ設定 (LiPoバッテリーを使用する場合)

セット同梱のESC (SPORT BRUSHED POWER BEC)は、出荷時にNiMH (ニッケル水素) バッテリーの設定 (NiMHモード) になっています。LiPoバッテリーで使用する場合には、以下の手順でLiPoバッテリー用の設定 (LiPoモード) に変更してください。

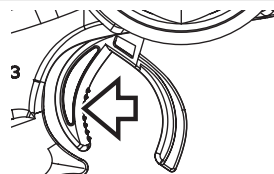
1. 送信機のスロットルトリガーをフルスロットルの位置にしたまま、ESCの電源をONにします。
ESCに内蔵された赤色LEDが点滅し「ピッ…ピッ…ピッ」とピープ音が鳴ります。



2. 送信機のスロットルをニュートラルに戻して1～2秒待ちます。



3. スロットルトリガーを再度フルスロットルにします。
ESCに内蔵された白色LEDが点灯すれば、LiPoモードへの変更は完了です。



上記操作を行なうたびにLiPoモード⇔NiMHモードが切り替わります。

現在のモードはESCの白色LEDの点灯 (LiPoモード) / 消灯 (NiMHモード) で判断できます。

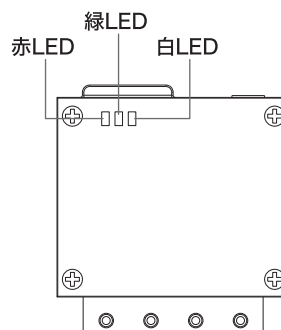
ESCのLED点灯状況について

ESCのLEDは状態によって下記の通り、赤・緑・白で点灯・点滅します。

ニュートラル時	赤LED点灯
スロットル・ブレーキ操作中	緑LED点滅
フルスロットル・フルブレーキ時	緑LED点灯
LiPoモード	白色LED点灯※1
NiMHモード	白色LED消灯※2
バッテリー残量警告時	赤LED点滅

※1 LiPoバッテリーで走行させる場合にこのモードにしてください。

※2 NiMHのほか、NiCdやLiFeで走行させる場合はこのモードにしてください。



ESC背面図

バインド (ペアリング)

2.4GHz送受信機は、コード番号を互いに認識して動作します。

このコード番号を認識させる操作がバインド (ペアリング) 作業です。

※本製品に付属の受信機は出荷時に完了しています。新しい受信機を購入した場合などに行なってください。

バインドボタンを押しながら送信機の電源をONにします。

緑のLEDが高速点滅します。点滅を確認したらバインドボタンから手を放します。

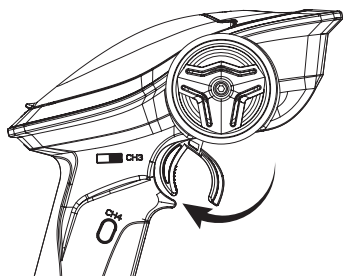
受信機の電源をONにします。受信機内蔵の赤色LEDがゆっくり点滅します。

送信機/受信機ともに電源をOFFにして、再度電源をONにしてください。

4. 操作方法

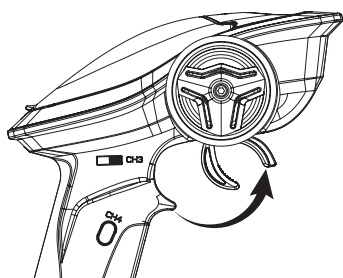
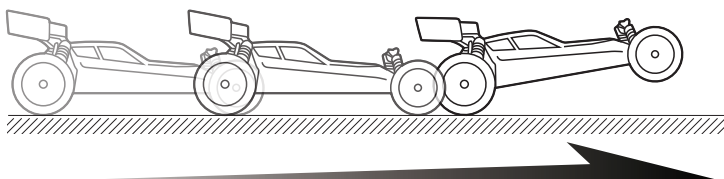
スロットルトリガーを前後に動かして前進、ブレーキ、バックの操作を行ないます。
ステアリングホイールを左右に動かして、ステアリング操作を行ないます。

スロットルの操作方法



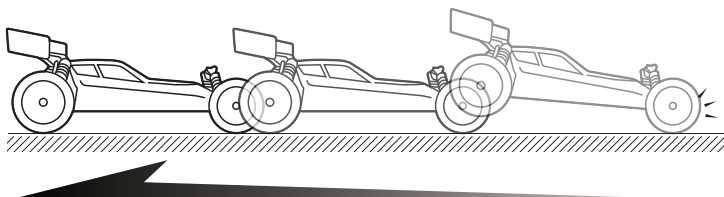
前進

スロットルトリガーを手前に引くと前進します。

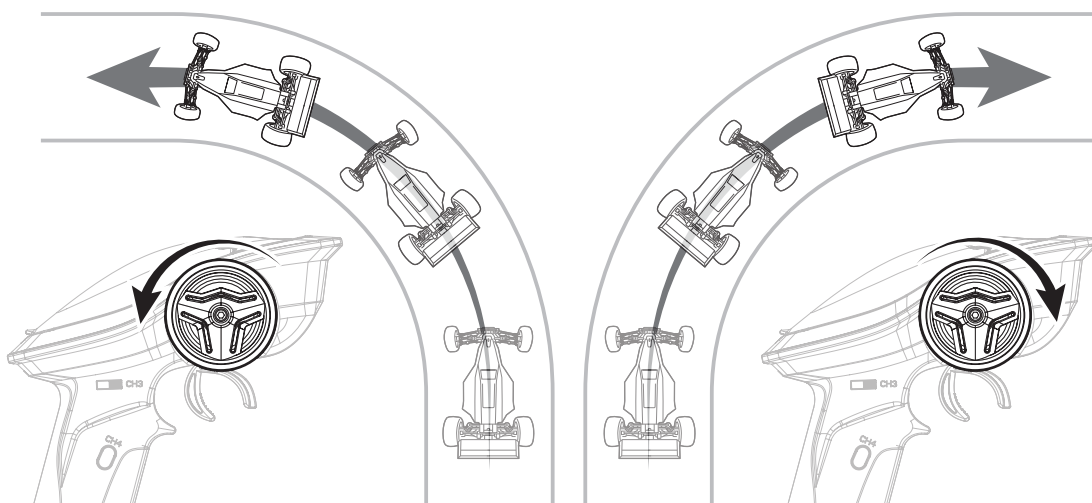


ブレーキ・後進

スロットルトリガーを奥側に押すとブレーキ、バック走行します。



ステアリングの操作方法



左カーブ

ステアリングホイールを左に回すと左にカーブします。

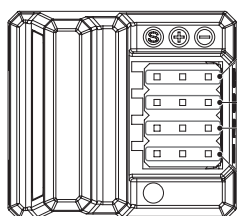
右カーブ

ステアリングホイールを右に回すと右にカーブします。

5. GT4P 送信機の機能について

チャンネル(CH)

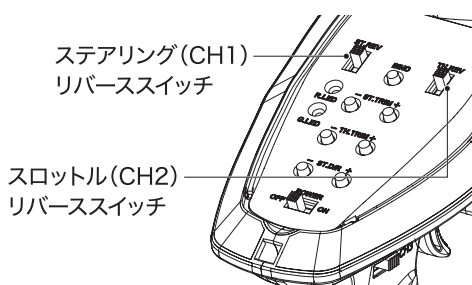
GT4P送信機は合計で4つのチャンネル出力が可能です。各チャンネルは次のように割り当てられています。



- CH.1 ステアリング
- CH.2 スロットル
- CH.3 3ポジションスイッチ (“+”、“ニュートラル”、“-”の3ポジション)
※変速ギヤを持つRCカーのギヤチェンジなどに使用できます。
- CH.4 2ポジションスイッチ (“+”、“-”の2ポジション)
※サーボの最大舵角でのホールドなどに使用できます。

チャンネルリバーズ

ステアリングとスロットルの動作方向を逆向きにできます。送信機の各リバーズスイッチを上側にスライドさせるとリバーズ機能が有効になります。



トリム調整

ステアリングやスロットルのわずかなズレを微調整できます。それぞれ+/-ボタンで調整を行なうことができます。

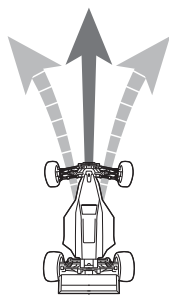
スロットルトリム (TH.TRIM)

スロットルのニュートラル位置がズれている場合に使用します。

ステアリングトリム (ST.TRIM)

直進しない場合など、ステアリングの微調整に使用します。

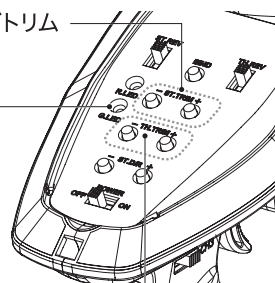
車が前進して左に曲がっていくときは、ステアリングトリム (ST.TRIM) の「+」を、右に曲がっていくときは、「-」を押して、真っ直ぐになるように調整します。



ステアリングトリム
(ST.TRIM)

緑LED
(G.LED)

スロットルトリム
(TH.TRIM)



- トリムの調整値がセンター(ニュートラル)の時、緑LED (G.LED)が2回点滅します。
- トリムの調整幅が最大になると送信機の緑LED (G.LED)が消灯します。それ以上はトリムでの調整はできません。

デュアルレート

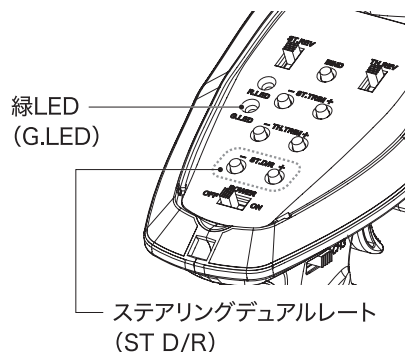
ST D/R (ステアリングデュアルレート)

ステアリングの最大舵角量を調整できます。出荷時は100%で、最大値は120%です。

ST D/R + : ステアリングの舵角を増やします。

ST D/R - : ステアリングの舵角を減らします。

- 設定値が最大(最小)になると、+/-ボタンを押してもLEDは点灯せず、設定値が最大になった事を意味します。



ビギナー(初心者)モード

このモードでは最高速が50%に抑制されます。操作に慣れていない方やお子様の走行時にお使いください。

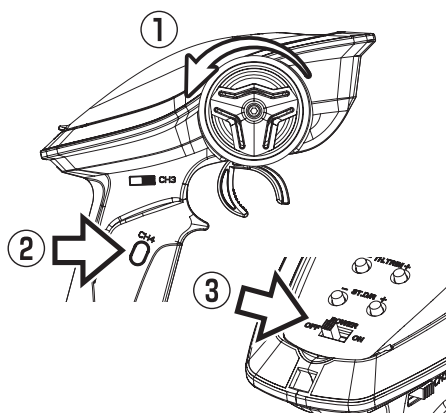
設定方法

ステアリングホイールを左に目いっぱい切った状態①で、CH.4ボタンを押しながら②、送信機の電源をONに③する。

緑LED (G.LED) が2回点滅を2回繰り返すと、ビギナーモードに入ったことを示します。

ビギナーモードの状態は記憶され、次回以降は電源を入れるだけでビギナーモードになります。

- ビギナーモードの解除には1.の操作をもう一度行います。



6. 高度な設定

何らかの理由で正しく動作しなくなった場合に有効な設定です。設定を誤ると正しく動作しないばかりか、危険に晒される可能性もあります。説明内容をよくお読みになり、確実な設定を行ってください。

フェイルセーフ

何らかの理由で送信機からの信号が失われた場合のマシンの動作を設定します。設定することで安全にマシンを留まらせ回収することが出来ます。出荷時には設定されておらず、信号が失われた際には全CH.がニュートラル状態となります。

設定方法

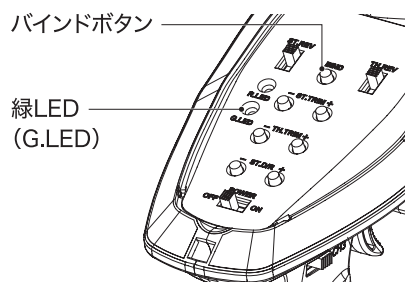
(例: スロットルニュートラル/ステアリング左最大舵角に固定する場合)

送受信機(バインド済であること)の電源をONにします。

スロットルには手を触れず、ステアリングを左いっぱいに切ります。

バインドボタンを約3秒間長押しし、緑LED(G.LED)が点滅すれば設定完了です。

※信号喪失時には手順「2」で指定した操作が実行されます。



キャリブレーション

送信機の信号操作範囲の校正を行ないます。左右でハンドルの舵角量が違うなど、操作感到異常や違和感が出た場合に行なうと改善される場合があります。

設定方法

ステアリングホイールを右いっぱいに切り、スロットルをフルブレーキの位置に保持した状態で送信機の電源をONにします。(①)

緑/赤のLEDが2回点滅を繰り返し、キャリブレーションモードになります。

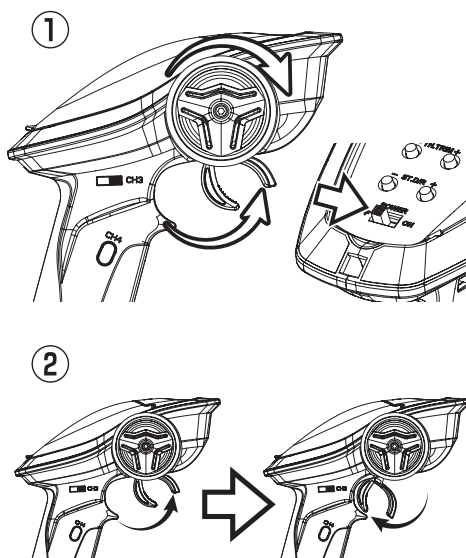
ステアリングホイールを「右いっぱい⇒左いっぱい」の順に動かします。

赤LED(R.LED)が消灯し、ステアリングのキャリブレーションが完了します。

スロットルトリガーを「フルブレーキ⇒フルスロットル」の順に動かします。(②)

緑LED(G.LED)が消灯し、スロットルのキャリブレーションが完了します。

バインドボタンを押します。緑LED(G.LED)が点滅し、赤LED(R.LED)が点灯に変われば全て完了です。



7. 製品仕様

セット内容は以下の通りです。

	送受信機セット	ベーシックセット
送信機	GT4P 送信機	GT4P 送信機
受信機	GR4P 受信機	GR4P 受信機
サーボ	—	GDS-0812 デジタルサーボ
ESC	—	SPORT BRUSHED POWER BEC
その他	取扱い説明書(本書)	取扱い説明書(本書)

GT4P 送信機

製品名	GT4P
チャンネル数	4ch
カテゴリ	RCカー、ボート
電波方式	2.4GHz
到達距離	約300m(障害物無しの場合の見通し距離)
電源	単三アルカリ乾電池×4本(充電電池の使用不可)
低電圧警告	<4.2V
アンテナ	本体内蔵式
動作環境	気温-10～60℃、湿度20～95%
寸法	160×193×97(mm)
重量	220(g)

GR4P 受信機

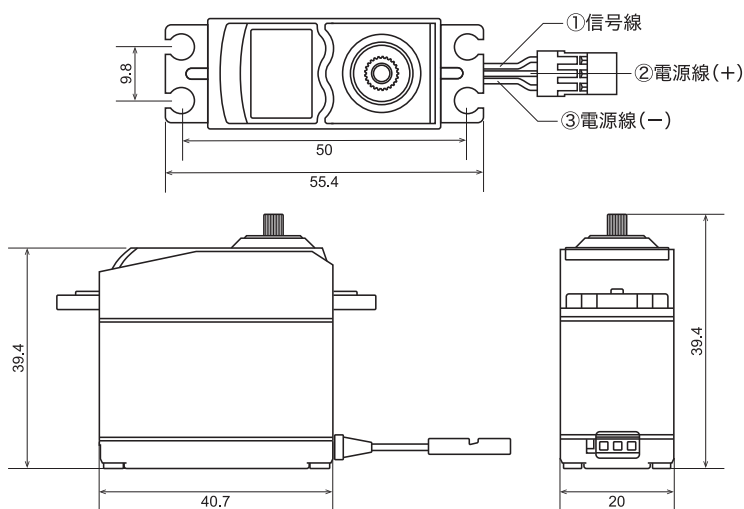
製品名	GR4P
チャンネル数	4ch
電波方式	2.4GHz
到達距離	100～300m(障害物無しの場合の見通し距離)
動作電圧	3.5～8.4V
アンテナ	本体内蔵式
動作環境	気温-10～60℃、湿度20～95%
寸法	22.5×20.6×25.5(mm)
重量	6(g)

ESC (SPORT BRUSHED POWER BEC)

連続最大電流 / 瞬間最大電流	60A/200A
使用可能モーター	ブラシモーター
対応スケール	1/10 電動カー、1/12 電動カー
使用可能ターン数	15Tまで(※ギア比やタイヤ、路面状況によっては15TでもESCが破損する場合があります)
抵抗値	0.0018 Ω
対応バッテリー	2S LiPo、2S LiFe、4.8-7.2V NiMH(Cd) ※LiFeの場合はカットオフ機能が無効になります。
BEC 電圧・電流値	6V/3.0A
サイズ	35.3×32.4×19.7mm (LxWxH)
重量	38g (ケーブル等含)
冷却 FAN 動作条件	8V@0.2A , MAX 12.6V
モーター制御	前進/ブレーキ/後進

GDS-0812 デジタルサーボ

使用電圧	4.8-6.0V
スピード	0.12 sec/60°(6.0V) / 0.15 sec/60°(4.8V)
トルク	8.0 kg・cm(6.0V) / 5.5 kg・cm(4.8V)
寸法	55.4×20×47.6mm
重量	42g



- コネクタの向きに注意して接続してください。逆接すると故障の原因となります。
- サーボホーンを手で直接回さないでください。
- 防水ではありません。水に濡らしたり水中で使用しないでください。

9. サポート情報

よく頂くご質問

Q. 走行中に突然スロットルもステアリングも操作できなくなった。

A. バインドが切れた可能性があります。クルマを回収し、再バインドを行なってください。

Q. 少し(数メートル)離れるだけで操作できなくなる。

A. 送信機の電池残量を確認してください。受信機の搭載位置を確認してください。

Q. ハンドル操作の左右が逆になっています。

A. 送信機のステアリング側リバーススイッチを切り替えてください。

Q. リポバッテリーを使用しても問題ないでしょうか？

A. はい問題ありません。安全に使用するためバッテリーモードを変更してください。(7P参照)

Q. 説明書に従って配線してもモーターが回りません。

A. ESCの受信機への接続CH.と、コネクターの接続向きを確認してください。(6P参照)

Q. ESCの電源が入りません。

A. バッテリー残量、コネクターの接続状態を確認してください。

Q. LiFeバッテリーを使用する場合、ESCの低電圧カットオフ設定は、LiPoモードかNiMHモードのどちらにすれば良いですか？

A. NiMHモード(最初に設定されているモード)でお使いください。

Q. このプロポはRWDドリフトカーにも使用できますか？

A. 使用可能ですが、3チャンネルでのゲイン調整ができないため、ご使用の際はジャイロ本体でゲイン調整が行なえるジャイロをご使用ください。

Q. 壊れた時には修理してもらえますか？

A. 修理は承っておりませんが、定価の60%の価格での有償交換サービスがございます。詳しくはサポート情報をご覧ください。(15P参照)

Q. フェイルセーフ機能を解除するにはどうすればいいですか？

A. 電源を入れて、送信機のステアリングとスロットルをニュートラルの位置にした状態で、バインドボタンを3秒間押し続けます。緑LED(G.LED)が点滅し始めれば、デフォルトと同じ状態になります。

保証・修理規定

保証については、初期不良品のみに対応となります。保証を受ける際には領収書、レシート、納品書など購入時期を証明するものが必要です。購入時期を証明できない場合には初期不良品としての対応は致しかねます。

初期不良品につきましてはお手数ですが、弊社へお送り頂く前に事前に電話にて弊社までご連絡頂けますようお願い致します。ご使用後の製品の破損などによる修理依頼は新品への有償交換とさせていただきます。

初期不良交換、修理有償交換ともに付属品等を完備のうえでお送りください。

欠品があった場合、交換対応をお断りさせていただくことがあります。

ご不明な点は弊社カスタマーサポートまでお問い合わせください。

有償交換について

送信機/受信機、サーボ、ESCなどそれぞれ有償交換が可能です。

交換費用は下記の通りです。(全て税込み、別途代引き手数料が発生します)

- GT4P送信機 3,630円
- GT4R受信機 2,574円
- ESC (SPORT BRUSHED POWER BEC) 2,970円
- GDS-0812 Servo 2,574円

有償交換手順

[有償交換希望]と明記のメモを同梱のうえ、お手元の製品を弊社宛にお送りください。

※送料はお客様のご負担となります。

到着次第に交換品を代金引換にてお送りいたします。

※お支払いは代金引換のみとなります。

免責事項

- ◇ 弊社は当製品の使用によるいかなる損害にも保障する責任を負いません。
- ◇ 本製品の分解・改造・不適切な使用・指定外の機器との接続・不正な電源投入などによって生じた損害やトラブルについて、当社は責任を負いません。
- ◇ この製品は性能向上・品質向上のために予告なく仕様変更する場合があります。予めご了承下さい。

お問い合わせ先

製品カスタマーサポート: 03-6206-0059

電話受付: 月曜日～金曜日 (祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

受付時間: 10:00～12:00 / 14:00～16:00

(弊社での修理・調整は行っておりません。予めご了承ください)

お問い合わせフォーム: <https://g-force.co.jp/form/gforce-hobby/>

WEBサイト サポートアドレス: <http://www.gforce-hobby.jp/faq/>

販売元: 株式会社ジーフォース

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-3-1 VORT神田9階

